

県内学校ミニ・ニュース(船橋市立若松小学校)

本校は、昭和44年に開校し、令和6年度、創立56年目に入りました。学区は、かつて船橋ヘルスセンターやスキードームザウスがあった地域です。開校以来、船橋競馬場と若松団地に住む子供たちで構成されてきましたが、船橋ヘルスセンター跡地に、大規模ショッピングセンターがオープンし、スキードームザウス跡地に大型マンション(約2,000世帯)が建ち児童数が増加しました。本校は令和6年度の児童数678名のうち、外国籍の児童は約50名在籍しています。その中でも中国やベトナム国籍が多く校内の日本語指導教室に通う児童は約20名です。

日本語指導教室前の掲示物



職員室前の掲示物



令和5年度に船橋市教育委員会から国際理解教育の研究指定を受け、5年間の研究がスタートしました。研究主題は「グローバルな視点で物事を考え、主体的に自分の思いを表現することのできる児童の育成」です。副主題として、～国際理解教育の理念を取り入れた教育課程を基盤として～と設定して研究を進めています。

研究1年目は、国際理解を意識した授業の開発と実践に取り組みました。また、異なる文化や言語(その背景)を知り、相互に理解し尊重し合うための場づくりを目的とした「ワールドフェスティバル」を開催しました。

ワールドフェスティバル



ワールドフェスティバル



ワールドフェスティバル



取り組みの後は「他の国の遊びをもっと知りたくなった」「遊び以外のことも知りたい」など児童の意欲的な感想が集まりました。校内環境や、こうした取り組みを通して児童は「国際理解」への意識を高めています。今後も授業実践を積み重ね、研究を深めていきたいと思ひます。